
IBM 4674-010/011 POS 端末装置
ユーザーズ・ガイド

第1版 2000 年 3月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2000.
All rights reserved.

電波障害自主規制 届出装置の記述

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書中の次の用語は、米国およびその他の国におけるIBM Corporation の商標です。

IBM、AT

以下の用語は、他社の登録商標または商標です。

Celeron	Intel Corporation
Microsoft	Microsoft Corporation
Windows	Microsoft Corporation
Windows 98	Microsoft Corporation
Windows 2000	Microsoft Corporation
Windows NT	Microsoft Corporation

— 本書をお使いの方々へ —



本書は、『IBM 4674-010/011 POS 端末装置 導入計画および操作ガイド』
(GA88-0156)の抜粋版です。より詳しい情報が必要な場合は、そちらのマニュアル
を参照してください。

安全に正しくお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示についての記述がされています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本製品を正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよび本製品での安全表示については、以下の絵表示を使用しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険/注意ラベルの表示について

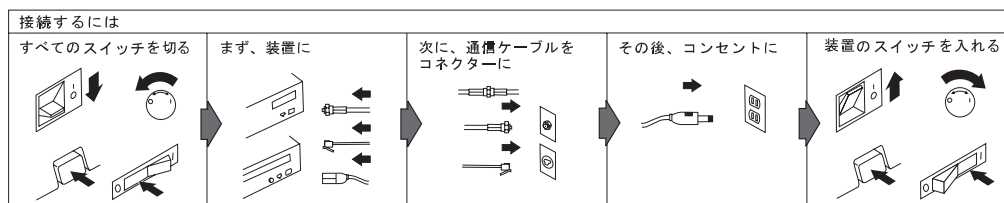
本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関する危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。このマニュアルに記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠危険

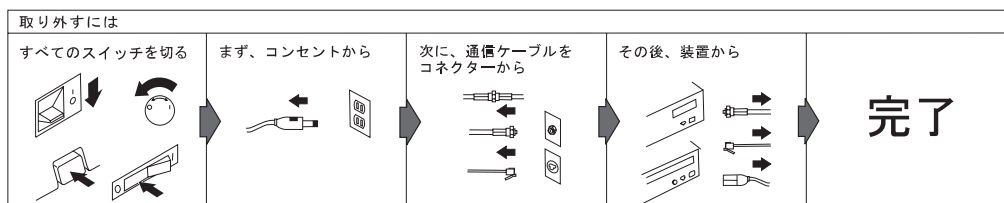
- 本製品のディスプレイのカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- この機器の中にある電源のカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- この機器を改造しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器には使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 電源プラグは、正しく配線および接地されている電源コンセントに接続してください。
- スイッチやその他の制御部分をぬらさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災や感電のおそれがあります。
- 付近に雷が発生しているときは、装置の操作やケーブルの抜き差しは行わないでください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入ったときは、すぐに本体のスタンバイ・スイッチを押してスタンバイ・モードにし、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 本製品のスタンバイ・スイッチを切っても電源は切れません。電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。このため、コンセントは操作員の手が届きやすい場所に設置する必要があります。
- 本製品には、システム・ボード上にリチウム電池が使用されています。電池の交換方法や取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂のおそれがあります。電池を廃棄する場合、および保存する場合にはテープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると、発火や破裂の原因となります。電池は、地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中には捨てないでください。

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。



雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

⚠️注意

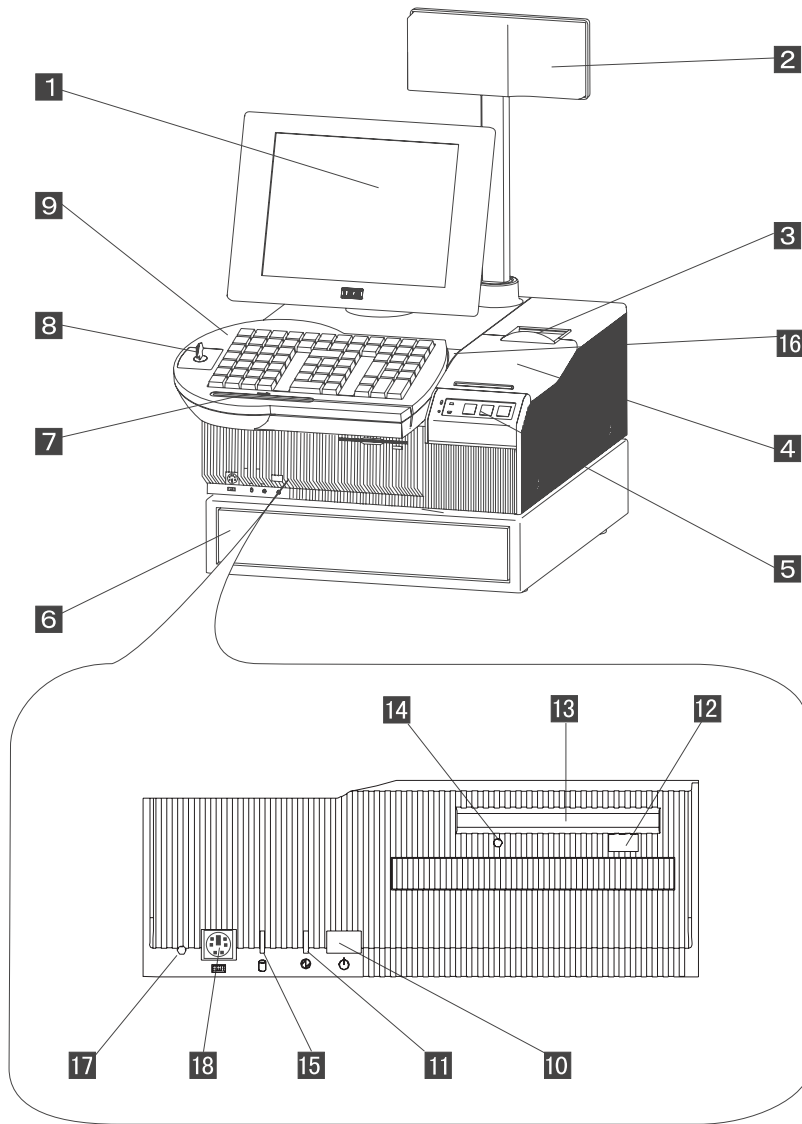
- プリンターをテストする際には、安全のために、ネクタイ、ネックレス、ブレスレットなどの身の回りの装飾品が、動いている部品に接触しないように注意してください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本体またはキャッシュ・ドロアを持ち上げたり、配置を変えたり、移動したりするときは、思わぬ怪我をしないように注意してください。重すぎるときは、ほかの人の応援を頼んでください。

注：重量が18Kgを超えるときは、1人で持たないようにしてください。（本体とキャッシュ・ドロアを合わせて22kgあります。）また、本体とキャッシュ・ドロアは固定されていないので、設置または移動の際には、キャッシュ・ドロアが落下などしないように十分注意してください。

- 液晶ディスプレイには水銀を含む冷陰極蛍光灯（CCFL）が入っています。廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

製品について（各部の名称と機能）

前面部



前面部

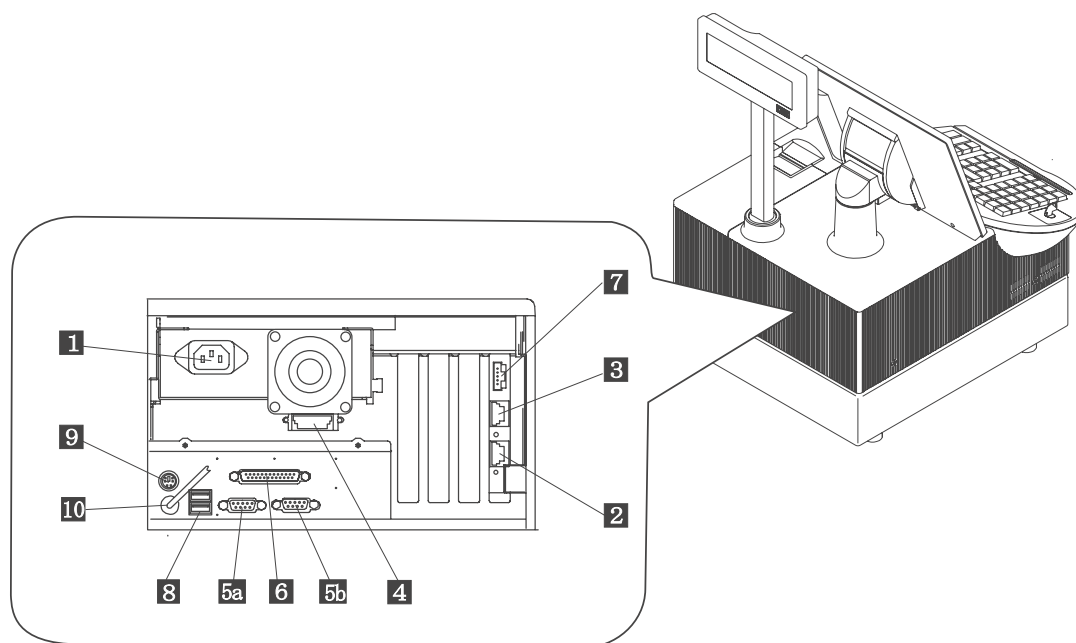
- 1** 操作員用ディスプレイ: 10.4インチのカラー液晶ディスプレイで、漢字、ひらがな、さらにはグラフィックスも表示できます。表示できる文字数は80文字 × 24行です(漢字の場合は40文字 × 24行)。ディスプレイは見やすい角度に調節することができ、コントラストと明るさの調節はキーボードから行います。(コントラストと明るさの調節については、6ページの『ボリューム調整キー』を参照)
画面に直接触れる感覚で操作できるタッチパネル型もあります。(10ページを参照)
- 2** 顧客用ディスプレイ: 顧客向けに価格や釣り銭などを表示するディスプレイです。英数カナで20文字 × 2行表示できます。
- 3** プリンター開閉つまみ: このつまみをつかんでプリンター・カバーを開閉します。
- 4** プリンター・ユニット: レシート印字機構とジャーナル印字機構が縦型に配列されています。プリンターはサーマル式のドット・マトリックス方式で印字します。レシートには、ロゴ・スタンプのいらないグラフィック・ロゴ印字が可能です。(5ページを参照)
- 5** オペレーター・パネル: プリンターの操作用に5つのスイッチと2つの表示ランプが付いています。(5ページを参照)
- 6** キャッシュ・ドロア: 紙幣用として3区画、硬貨用として6区画があります。(8ページを参照)
- 7** 磁気ストライプ読取機構: JIS I、トラック2およびJIS II規格の磁気ストライプを読み取ることができます。(9ページを参照)
- 8** モード・キー・スイッチ: モード・キーを使って、使用状況に合わせたモードにセットします。(7ページを参照)
- 9** キーボード: POS端末装置にデータを入力します。(6ページを参照)
- 16** ラベル: 機種、モデル、および製造番号が記載されています。

前面パネル

- 10** スタンバイ・スイッチ: POS端末装置を起動または遮断します。
- 11** システム・ランプ: POS端末装置が起動すると点灯します。
- 12** ディスケット取り出しボタン: ディスケット・ドライブからディスクを取り出すときに押します。
- 13** ディスケット・ドライブ・スロット: ディスケットを挿入します。
- 14** ディスケット・ドライブ動作中ランプ: ディスケット・ドライブがデータの読み書きをしているときに点灯します。
- 15** ハードディスク動作中ランプ: ハード・ディスクでデータを読み書きしているときに赤色に点灯または点滅します。
- 17** ダンプ・スイッチ: 通常は使用しません。
- 18** PC キーボード・コネクタ: PCキーボードのケーブルを接続します。

注: このランプが点灯しているときには、スタンバイ・スイッチを切ったり、取り出しボタンを押してディスクを取り出ししたりしないでください。

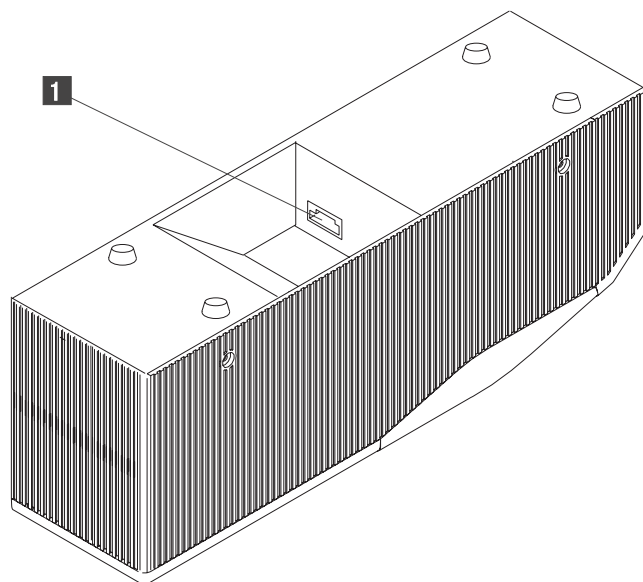
背面部



背面パネル

- 1** 電源コード・コネクタ: 電源コードを接続します。
- 2** 顧客用ディスプレイ・コネクタ: 顧客用ディスプレイのケーブルを接続します。
- 3** バーコード・スキャナー・コネクタ: バーコード・スキャナーのケーブルを接続します。オプションのスキャナー用Y字型ケーブルを使用すると、固定式とハンディ・タイプをそれぞれ1台ずつ接続することができます。
- 4** プリンター・コネクタ(モデル010のみ): POSプリンターを接続します。
- 5** RS-232Cコネクタ: RS-232C のケーブルを接続します。(**5a** はCOM1、 **5b** はCOM2 (タッチパネル使用時はCOM3))
- 6** パラレル・コネクタ: PCプリンターのケーブルを接続します。
- 7** キャッシュ・ドロア・コネクタ: キャッシュ・ドロアのケーブルを接続します。
- 8** USB (ユニバーサル・シリアル・バス) ポート: 予約端子。ここには何も接続しないでください。
- 9** マウス・コネクタ: マウス・ケーブルを接続します。
- 10** PC キーボード・コネクタ: 前面パネルのPCキーボード・コネクタに接続されています。

POS プリンター

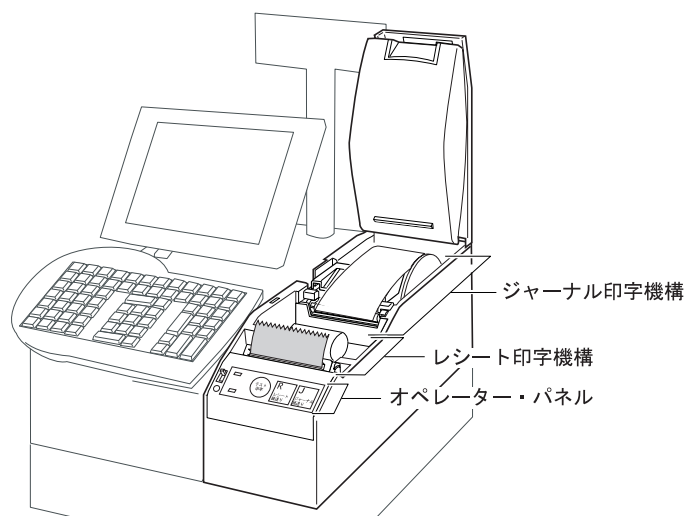


- 1** プリンター・コネクター: 本体に接続するために使用します。

各部の機能

プリンター・ユニット

プリンターの前部はレシート印字機構、後部はジャーナル印字機構になっています。プリンターはサーマル方式のドット・マトリックス方式で印字します。印字と行送りは、アプリケーション・プログラムによって制御されます。



オペレーター・パネルのスイッチの機能は次のとおりです。



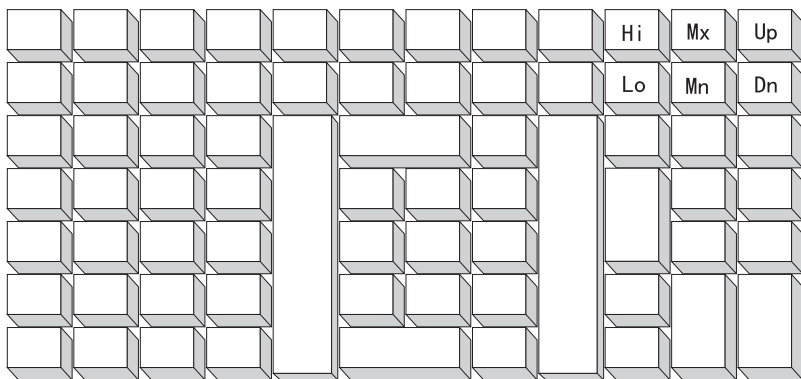
スイッチ	機能 (モード選択スイッチが「R」の場合)
J ジャーナル紙送り	このスイッチを押している間ジャーナル用紙はフィードします。
R レシート紙送り	このスイッチを押している間レシート用紙はフィードします。
テスト印字	すべてのエラーがクリアされ、レシートとジャーナルの両方に 6 行の THパターンを印字します。
T/R (モード選択スイッチ)	通常は「R」にしておきます。 注: 通常の業務では、「T」は使用しません。
C (クリア・スイッチ)	通常の業務では使用しません。

キーボード

モード・キーの位置によってキー・レイアウトが変わります。

ボリューム調整キー

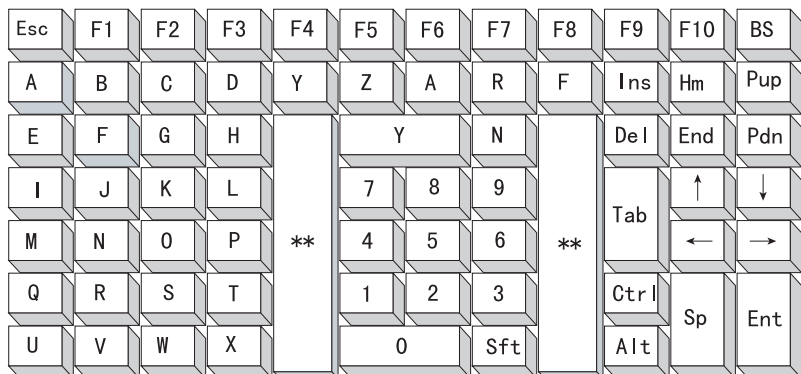
下記のキーは音量調整、液晶ディスプレイのコントラストと明るさの調整に使用します。このキーはモード・キーが「中止」のときのみ機能します。



- Up** ビープの音量を大きくします。
- Dn** ビープの音量を小さくします。
- Mx** 液晶ディスプレイの明るさを最大にします。
- Mn** 液晶ディスプレイの明るさを最小にします。
- Hi** 液晶ディスプレイのコントラストを明るい方に調整します。
- Lo** 液晶ディスプレイのコントラストを暗い方に調整します。

PCキーボード・キー

下記のキーはモード・キーが「PCモード」のときのみ機能します。

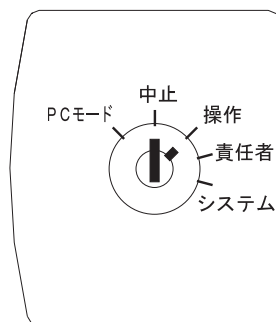


** ダミー・キー

モード・スイッチ

モード・キー（操作員用キー、責任者用キー）を差し込んでモードを選択します。

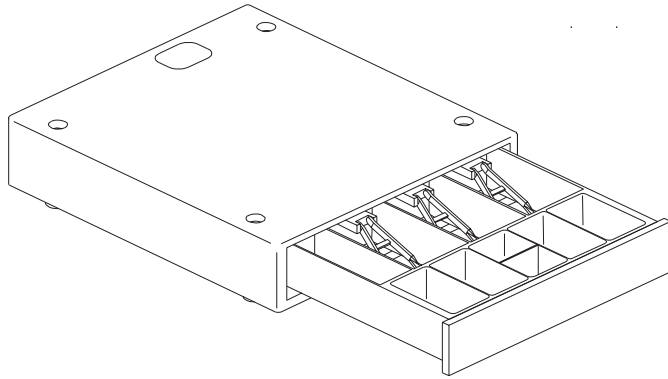
- 操作員 ("OP") 用キー：「PC」と「中止」「操作」の3つのモードが選択できます。
- 責任者 ("MGR") 用キー：すべてのモードが選択できます。通常は責任者が使用します。



モード	意味
PC	PC キーボードの一部の機能をサポートします。
中止	キーボード操作（データ入力）はできません。ボリューム・コントロール、液晶のコントラストおよび明るさの調整は、この中断モードのときだけ行うことができます。
操作	通常の操作モードです。
責任者/システム	責任者用キー（ストア管理者、指定された人などが所有）でのみ、このモードを選択できます。

注： 「中止」または「操作」の位置では、キーを抜いた状態で使用できます。

キャッシュ・ドロア



ドロアの開放は、通常、適用業務プログラムで制御します。ドロアを閉じる場合は、ドロア前面の中央部を押して閉じてください。

注意

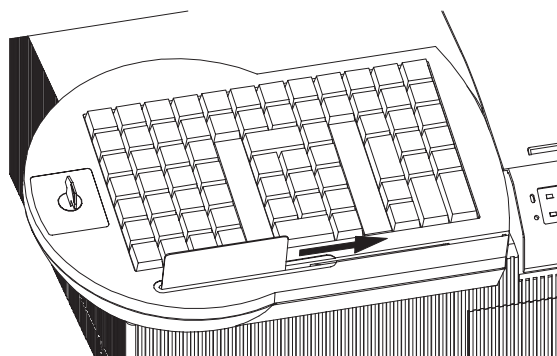
ドロアが開放された状態で、ドロアの手前側を下に強く押さないでください。

磁気ストライプ読取機構

磁気ストライプ読取機構は、磁気ストライプの付いたプラスチック製の磁気カード（クレジット・カードなど）の読み取りを行います。

次の手順で磁気カードを読み取ります。

1. 磁気カードの文字が浮き出ている面を手前にして、磁気ストライプが下になるように持ちます。
2. 磁気カードが磁気ストライプ読取機構の底と平行になるように挿入し、カードを浮かさないようにしてスロットの中を滑らせます。（このとき、少し抵抗感があります。）
3. カードがスロットの端から出るときが操作の終了です。



タッチパネル

タッチパネルは、液晶ディスプレイ画面の上にかぶさっている透明なパネルです。指や適当な入力ペンなどで、画面に直接触れる感じで操作できます。パネルに触れると、その触れた場所の位置情報が入力されるようになっています。

操作上の注意

タッチパネルの表面には傷をつけないようにしてください。

- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので押さない。
- 強く押し過ぎない。タッチパネルは軽く押すだけで反応します。

タッチパネルのキャリブレーション（補正）

タッチパネルを押した位置と画面上で押された位置がずれていると、入力の反応が鈍くなったり、違った所が反応したりするようになります。このような場合、タッチパネルのキャリブレーション（補正）を行って押した位置が正しく検知されるようにします。

タッチパネルのキャリブレーションは以下の手順で行います。

注： 装置に付属の「IBM 4674 POS端末装置 タッチパネル・ユーティリティ・ディスク」を使用しますが、このディスクの **README.TXT** に使用方法についての最新情報が記述されています。Version 1.00 以降のディスクについては、必ず目を通すようにしてください。

キーボードについての注意

キャリブレーション・プログラムを使用する際、

- オプションの PC キーボードが必要になります。
- または、本体の POS キーボードのモード・スイッチを「PC モード」にセットして、PC キーボードのキー・レイアウトにして使用します。キー・レイアウトについては、6 ページの『PC キーボード・キー』を参照してください。

1. 「IBM 4674 POS 端末装置 タッチパネル・ユーティリティ・ディスク」をディスク・ドライブに挿入し、スタンバイ・スイッチをオンにします。

キャリブレーション画面が表示されます。



- 画面上に+印が9箇所表示されるので、1箇所ずつ、すべての+印を押してください。
 - 押す順番は任意です。
 - +が押されると画面が点滅します。
- すべての+印を押したら、**スペース**キーまたは**ENTER**キー（**リターン**キー）を押します。

「補正が正常に終了しました。描画画面を表示しますか（y/n）」と表示されます。
- 描画テストを行う場合は**Y**キーを押し、キャリブレーション・プログラムを終了する場合は**N**キーを押します。

注：描画画面では、タッチパネルを押した位置が画面に表示され、キャリブレーションが正しく行えたかを確認できます。

Windows使用中のキャリブレーションの方法： Windows (95/NT 4.0)を使用中にキャリブレーションが必要になった場合は、下記の方法によって行うことができます。

- 「IBM 4674 POS端末装置 タッチパネル・ユーティリティ・ディスク」をディスク・ドライブに挿入します。
- [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択し、下記のプログラム名を入力して [OK] を選択します。

Windows 98の場合： A:¥W98¥CALWINR.EXE
Windows NT 4.0およびWindows 2000の場合： A:¥NT40¥CALWINRE.EXE
- 画面上に+印が9箇所表示されるので、1箇所ずつ、すべての+印を押してください。
 - 押す順番は任意です。
 - +が押されると+の色が黒から赤（または赤から黒）に変わります。
- すべての+印を押したら、**ENTER**キー（**リターン**キー）を押します。

描画画面が表示されます。
- 描画テストを行う場合は**ENTER**キー（**リターン**キー）を押し、キャリブレーション・プログラムを終了する場合は**ESC**キーを押します。

注：描画画面では、タッチパネルを押した位置が画面に表示され、キャリブレーションが正しく行えたかを確認できます。

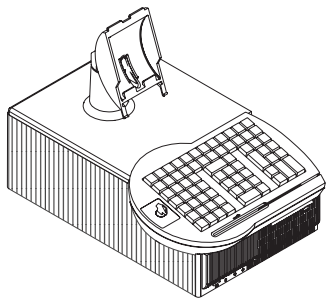
Windows のキャリブレーション画面で使用できるキーは下記のとおりです。

- ESC** キー： キャリブレーションを中止してプログラムを終了します。
ENTER キー： キャリブレーション・データを作成します。
TAB キー： 画面上のカーソル表示をオン・オフします。
HOME キー： キャリブレーションを中止して描画テストに移ります。
INS キー： 使用しないでください。

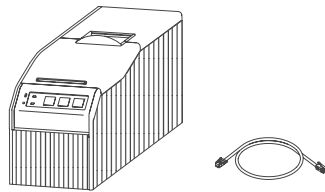
4674 POS端末装置の据え付け

製品の確認

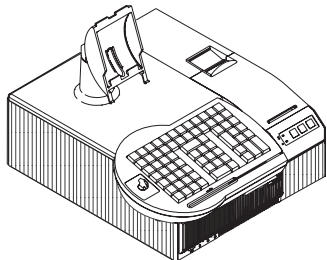
IBM 4674モデル010
(プリンターなしモデル)



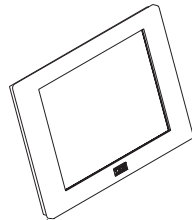
レシート/ジャーナル・プリンターとケーブル(オプション)



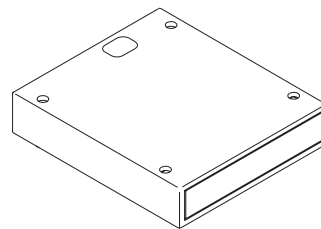
IBM 4674モデル011
(プリンター付きモデル)



操作員用ディスプレイ



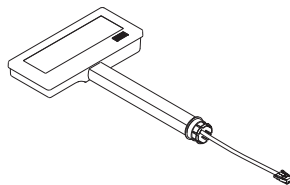
キャッシュ・ドロア
(オプション)



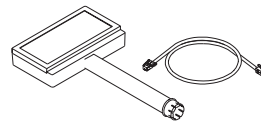
背面カバー



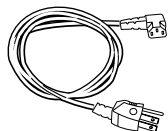
顧客用ディスプレイ
(オプション)



顧客用ディスプレイ 2
(オプション)



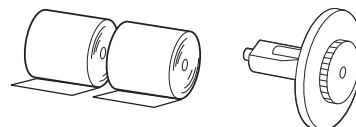
電源コード



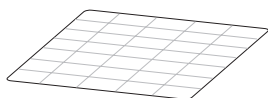
モード・キー
責任者用 ("MGR") 2 個
操作員用 ("OP") 2 個



プリンター用ロール紙 2 巻
ジャーナル巻き取りスプール



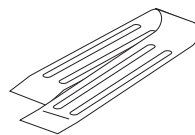
キー・トップ・ラベル



キー・キャップ 1セット
(シングル・キー用 54個、
ダブル・キー用 4個)

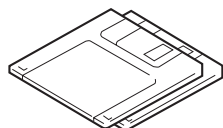


キー・キャップ取り外し工具



ディスク

- POS端末 I/O診断ディスク
- POS端末 PLANAR診断ディスク
- POS端末 タッチパネル・ユーティリティ
ディスク (タッチパネル付きのみ)



マニュアル

- ユーザーズ・ガイド (本書)
- 導入計画および操作ガイド (オプション)
- 保守マニュアル (オプション)

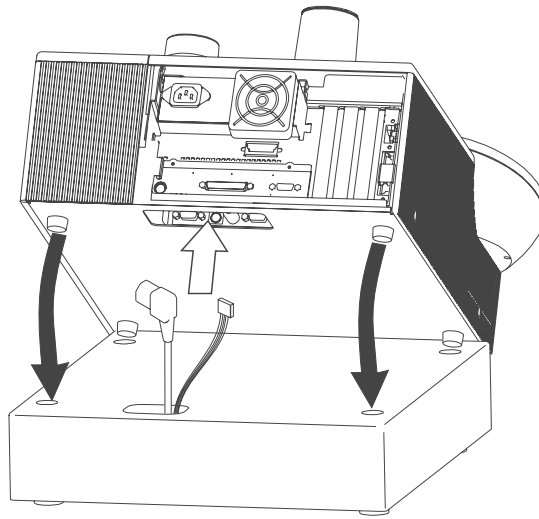
本体の設置

キャッシュ・ドロアと本体の準備

1. キャッシュ・ドロアを箱から出して設置場所に置きます。
2. 電源コードをキャッシュ・ドロアの穴から通しておきます。キャッシュ・ドロア内部にあるドロア・ケーブルも穴から出しておきます。

注: オプションや通信アダプターなどのケーブルもある場合、このとき一緒に穴から出しておくと、この後の作業が楽になります。

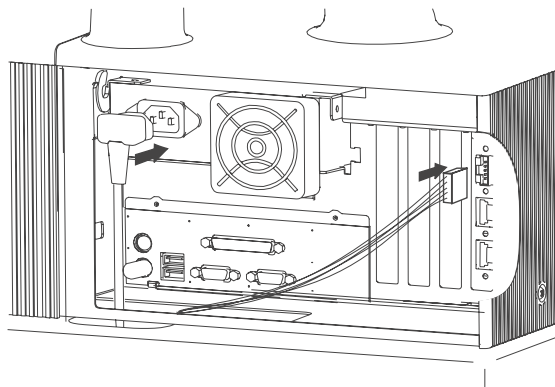
3. 本体をキャッシュ・ドロアの上に置き、電源コードとドロア・ケーブルを本体の穴から通してから本体の足をキャッシュ・ドロアのくぼみに合わせます。



4. 電源コードとドロア・ケーブルを接続します。

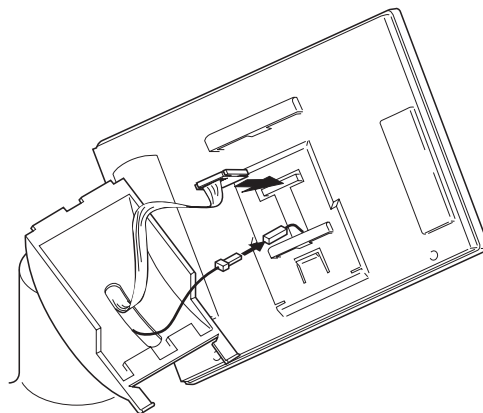
注: この段階では、電源コードをコンセントには接続しないでください。

モデル010はプリンター・ケーブルも接続します。



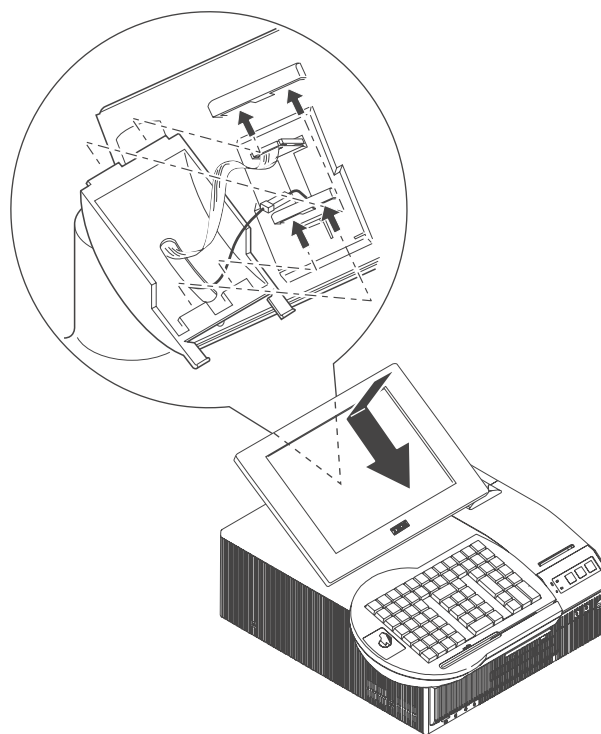
操作員用ディスプレイの取り付け

1. ディスプレイ背面のコネクターにディスプレイ・ケーブルとグラウンド・ケーブルを接続します。



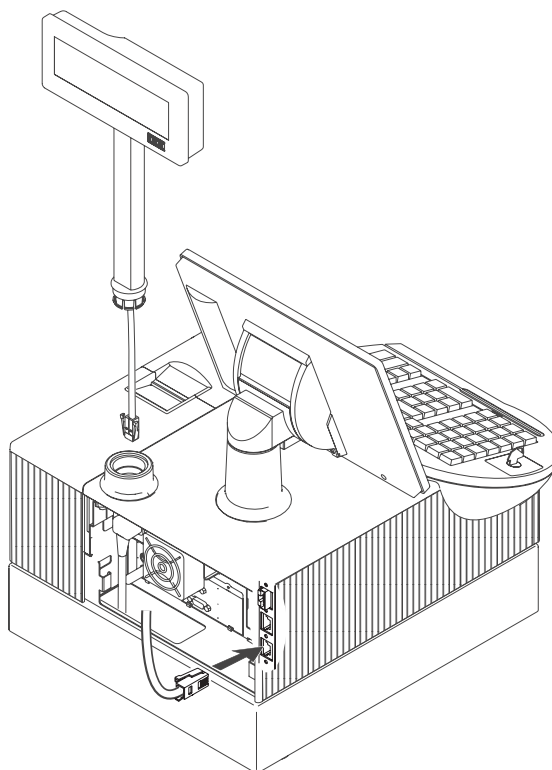
2. 本体側の上下のツメがディスプレイ背面のみぞに入るようにして、ディスプレイを「カチッ」と固定するまでスライドさせます。

注: このとき、ケーブルを挟まないように注意してください。



顧客ディスプレイの取り付け

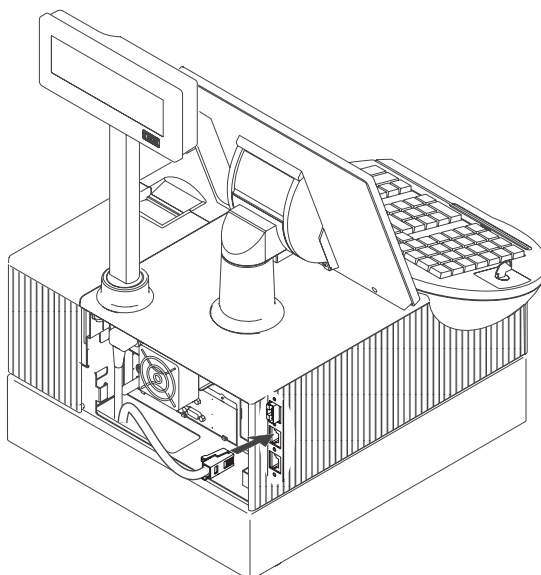
顧客用ディスプレイのケーブルを取り付け口に通してから、ディスプレイをしっかりと収まるまで取り付け口に押し込みます。そしてケーブルを顧客用ディスプレイ・コネクタに接続します。



スキャナーの接続

オプションのスキャナー用Y字型ケーブルを使用すると、固定式のスキャナーとハンディ・タイプのスキャナーをそれぞれ1台ずつ接続することができます。

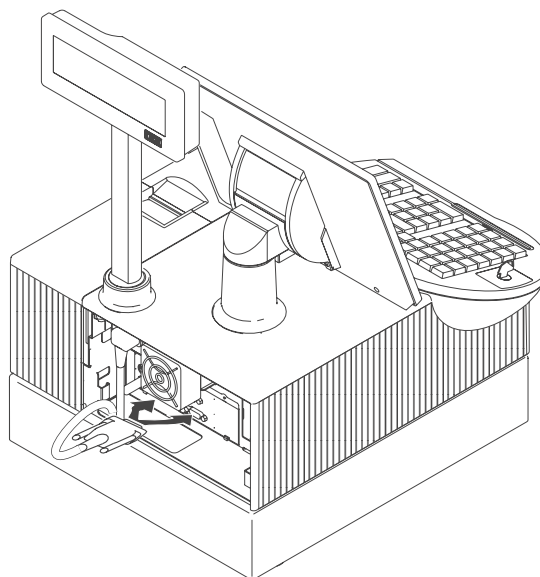
1. スキャナー・ケーブルをキャッシュ・ドローアのケーブル穴に通し、本体のケーブル穴から出します。
2. スキャナー・ケーブルをスキャナー・コネクタに接続します。



他社製品の接続

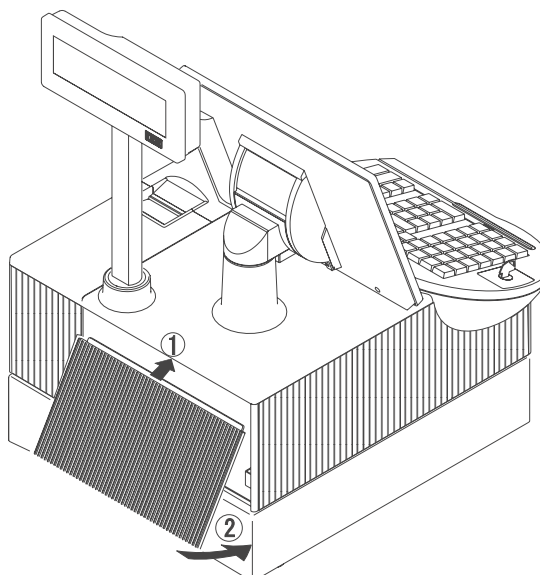
RS-232Cインターフェースの他社製品機器を接続します。

1. インターフェース・ケーブルをキャッシュ・ドローアのケーブル穴に通し、本体のケーブル穴から出します。
2. ケーブルをどちらかの RS-232Cコネクタに接続します。



背面カバーの取り付け

1. 上の方に押しつけるようにして取り付けます。

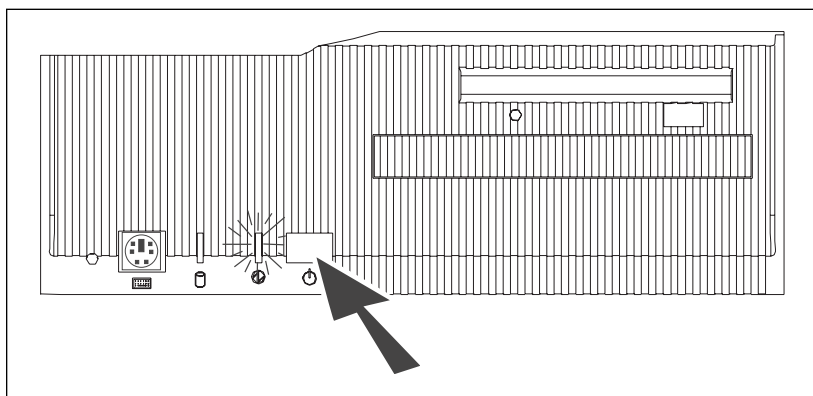


電源コードを接続し、起動

⚠注意

- 電源ラインが仕様を満たしていることを確認してください。（31ページの『電氣的仕様と設置場所について』を参照）
- 安全性および機械の安定稼働を保つためにアース線を必ず接地するようにしてください。

1. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
2. スタンバイ・スイッチを押して、POS端末装置を起動します。システム・ランプが点灯し、IBM 4674 は自己診断テストを開始します。



3. 自己診断テストが正常に終了した後、オペレーティング・システムかアプリケーション・プログラムの初期画面が表示されます。

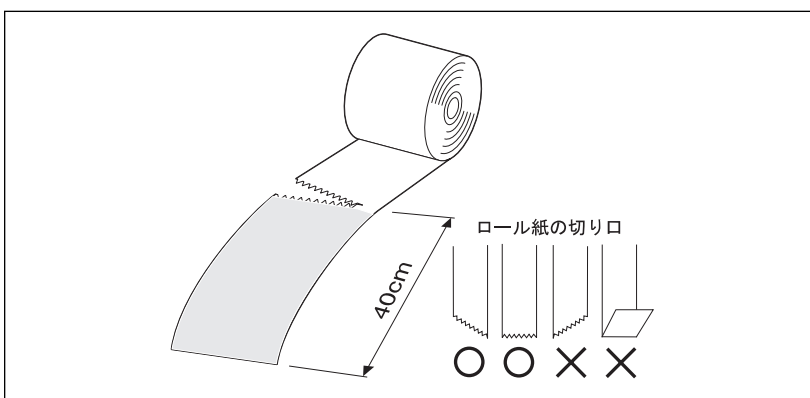
注： 上記の初期画面が表示されないときは、23ページの『故障かな? と思ったら』を参照してください。

レシート/ジャーナル・プリンターの準備

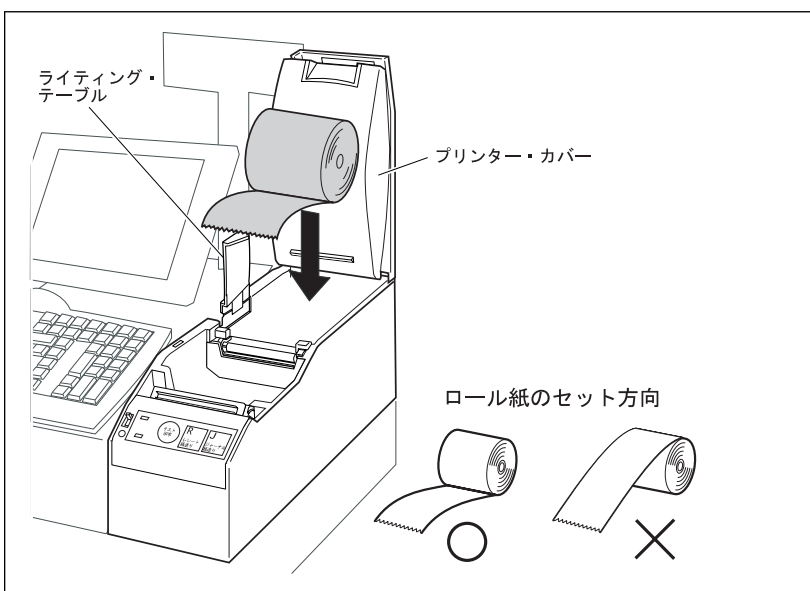
プリンターの準備は、電源を入れたまま行います。

ジャーナル・ロール紙の取り付け

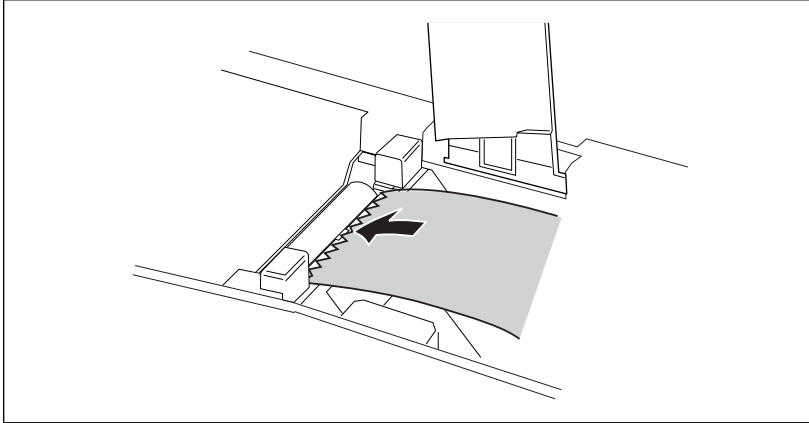
1. 新しいロール紙を準備し、ロール紙の端から約40 cm を手で切り取ります。
(切り口は、まっすぐか右側が少し長くなるようにしてください。)



2. プリンター・カバーを開き、ライティング・テーブルを開いてロール紙をライティング・テーブルの真下に入れます。

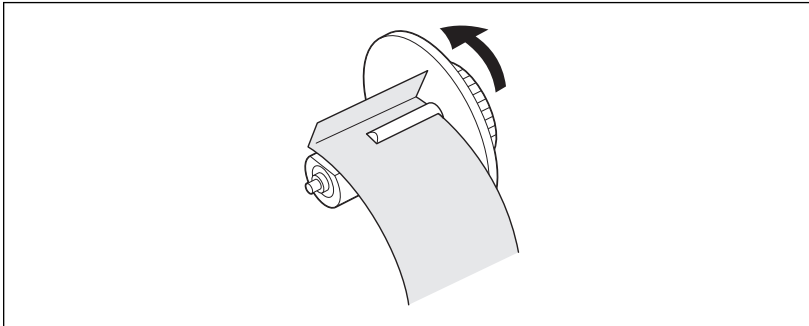


3. ロール紙の端を用紙挿入口にまっすぐ差し込みます。(斜めに差し込むと、用紙づまりを起こします。) 用紙は自動的にプリント・ユニットに送られ、用紙の端が手前に出てきます。

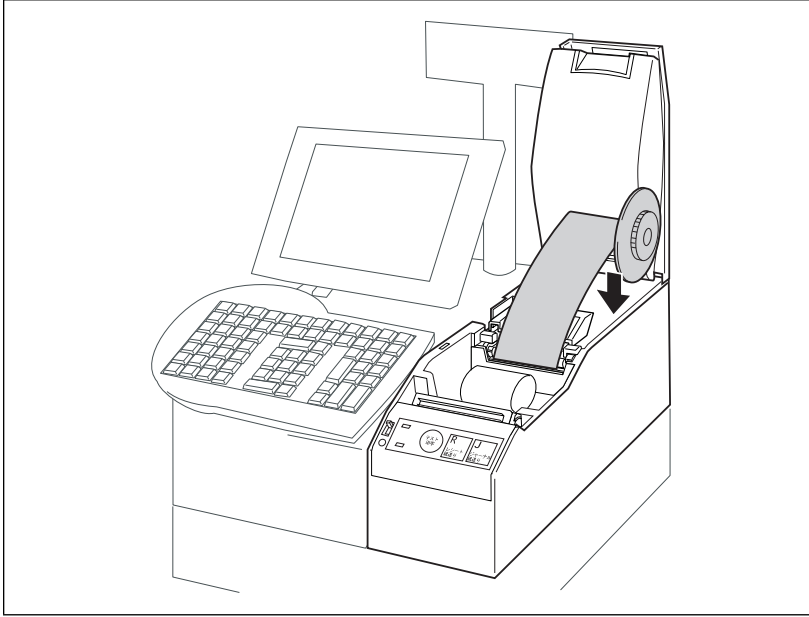


4. ロール紙の端をジャーナル巻き取りスプールに巻きつけます。

注： 用紙をさらに送り出す必要があれば、**J**（ジャーナル紙送りスイッチ）を押し続け、30 cm 程用紙が出るようにします。

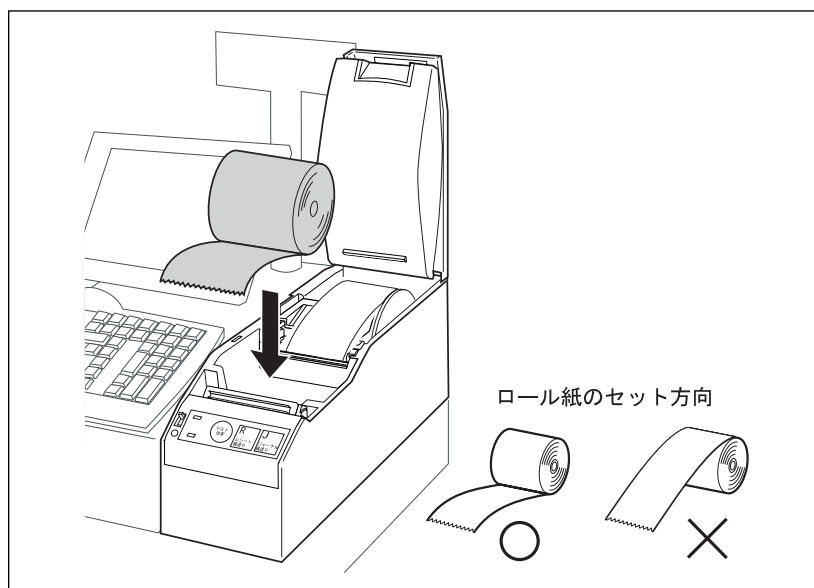


5. ライティング・テーブルを閉じ、ジャーナル巻き取りスプールをプリンターに取り付けます。その後、**J**（ジャーナル紙送りスイッチ）を押し続け、用紙をジャーナル巻き取りスプールに2～3回巻き付けます。



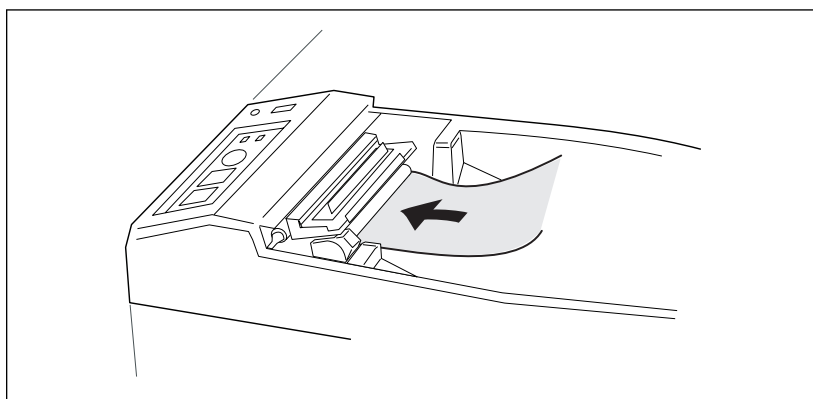
レシート・ロール紙の取り付け

1. ジャーナル・ロール紙と同様に、新しいロール紙の端から約40 cm を手で切り取ります。
(切り口は、まっすぐか右側が少し長くなるようにしてください。)
2. ロール紙をレシート・ステーションに入れます。



3. ロール紙の端を用紙挿入口にまっすぐ差し込みます。(斜めに差し込むと、用紙づまりを起こします。)

用紙は自動的にプリント・ユニットに送られ、カッター・スリットから出てきてカットされます。カットされた用紙は取り除いてください。



異常時の診断と日常のお手入れ

故障かな? と思ったら

故障かな? と思ったときには、修理を依頼する前に、次の手順で操作に間違いがないかを確認してください。

1. 4674 の自己診断テスト

スタンバイ・スイッチを押して本体を起動すると、4674 の基本的なテスト（自己診断テスト）が自動的に行われますので、正常に終了しているか確認してください。自己診断テストの詳細については、「導入計画および操作ガイド」を参照してください。

2. 基本チェック

次のことを確認してください。

- 電源コードは、本体とコンセントの両方に確実に差し込まれているか。
- 外部のオプションは確実にコネクタに接続されているか。
- ディスプレイのコントラストと輝度は調整されているか。（6ページの『ボリューム調整キー』を参照してください。）
- ディスケットを使う場合、正しい向きで挿入されているか、またはそのディスクが 4674 で使えるかどうか。（4674 では、1.44MB と 720KB フォーマットのディスクが使用できます。）

3. 症状別に対応する

「基本チェック」のあとも症状が直らない場合、『問題判別表』に従って該当する項目の対処のしかたをお読みください。

4. それでも直らないときは、サービス技術員に修理を依頼してください。

問題判別表

特定の症状の問題については、この問題判別表をご利用ください。

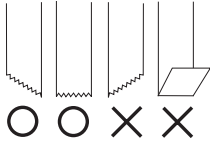

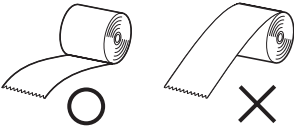
ヒント

新しいソフトウェアまたは新しいオプションを追加したばかりのときで、IBM 4674 が動作しないときには、問題判別表を参照する前に次のことを行ってください。

- 追加したばかりのソフトウェアや装置をいったん取り外す。
- 新しいソフトウェアを導入し直す、または新しい装置を取り付け直す。

問題判別表を利用するときは、まず表の左の欄から該当する問題の症状を探してください。表の右の欄にその問題に対する処置が記述されています。

プリンターの問題 その1

症状	処置
用紙が挿入できない。(オートフィードしない)	<p>挿入しようとしている用紙の先端(切り口)を調べてください。下図の左側の2例が正しい切り口です。</p> 
ジャーナルが巻き取られない。	<p>用紙の先端を折り返して、正しくジャーナル巻き取りスプールに巻き付けてください。</p> 
レシート用紙がプリンターの外に出ないで内側に溜まってしまう。	<p>カッターのスリットに紙片が残っていないか調べてください。紙片が残っていると、印字された用紙は通過できずに内側に溜まってしまいます。紙片を取り除いてください。(29ページを参照)</p>
用紙にまったく印字されない。	<p>用紙の表にしか印字できません。ロール紙のセット方向を確認してください。</p> 
プリンターが動かない。	<p>R または J のスイッチを押して紙送りができるかどうかを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙送りができるときは、フロント・カバーが浮いていることがあります。フロント・カバーがきちんと閉まっているか確認してください。 紙送りができないときは、オペレーター・パネルの左側にある T/R スイッチ(モード選択スイッチ)が「R」側になっていることを確認してください。(5ページを参照)「T」側になっていると通常の動きはできません。そのときは、ペン先などで「R」側にしてください。
印字が用紙からはみ出て、文字が切れてしまう。	<p>ロール紙の幅が狭過ぎると、この現象がでます。紙幅は、57.5mmから58.1mmのものを使用してください。</p>
ジャーナル・ロール紙の終わり(ニア・エンド)の表示時期が正しくない。	<p>コアのないロール紙を使っていますか。確認してください。コアのないロール紙の場合、正しく表示されません。</p> <p>注: ニア・エンドの表示時期は、使用状況により多少バラツキがあります。</p>

プリンターの問題 その2 (表示ランプが示すトラブル)

プリンター・ユニットの前面にあるオペレーター・パネル上には 2つの表示ランプがあり、プリンターの状況を示します。何か動作がおかしいなというときは、2つの表示ランプの状況と下表を照らし合わせて対応してください。

起動時

緑	黄	意味と操作員の対応
オン	点滅 (3回/秒)	意味: プリンター制御回路の故障です。(EEPROM エラー) 操作員の対応: サービス技術員を呼んでください。
点滅 (1回/秒)	点滅 (3回/秒)	意味: プリンター制御回路の故障です。(MPU エラー) 操作員の対応: サービス技術員を呼んでください。
オフ	点滅 (3回/秒)	意味: プリンター制御回路の故障です。(カッター・エラー) 操作員の対応: サービス技術員を呼んでください。

動作時

緑	黄	意味と操作員の対応
オフ	オン	意味: プリンター・カバーが開いています。またはジャーナル・ロール紙の終わり(ニア・エンド)です。 操作員の対応: <ul style="list-style-type: none"> プリンター・カバーを閉じてください。 ジャーナル・ロール紙を交換してください。
オフ	点滅 (3回/秒)	意味: ロール紙がない状態で印字しました。または、レシート・カットができませんでした。 操作員の対応: <ul style="list-style-type: none"> ロール紙がプリンターにセットされているか確認してください。 カッターに異物や用紙の切れはしなどがいないか確認してください。 エラー状態を取り除いた後、紙送りスイッチを押すか、プリンター・カバーを閉めたときにエラー表示は通常状態に戻ります。
点滅 (3回/秒)	オフ	意味: オペレーター・パネル左側の T/Rスイッチ(モード選択スイッチ)が T側(テスト・モード)になっています。 操作員の対応: ボールペンなどの先で T/Rスイッチを R側(下側)にセットしてください。

ディスプレイの問題

症状	処置
<p>操作員用ディスプレイに何も表示されない。</p>	<p>次のことを調べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本体がスタンバイ・スイッチにより起動されているか。 2. 電源コードが正しく接続されているか。 3. コントラストは調整されているか。
<p>顧客用ディスプレイに文字が表示されない。</p>	<p>次のことを調べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顧客用ディスプレイのケーブルが背面パネルのコネクタに正しく接続されているか。 2. 電源コードが正しく接続されているか。

タッチパネルの問題

症状	処置
<p>画面をタッチしても作動しない。</p>	<p>次のことを調べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タッチパネル・ドライバーが正しく導入されているか。 2. 4674 に付属の「タッチパネル・ユーティリティ・ディスク」で起動したとき、下記のエラー・メッセージがでるか。 <ul style="list-style-type: none"> • 「タッチパネルから応答がありません」 • 「タッチパネルの設定が正しくありません」 エラー・メッセージがでる場合は、本体の修理を依頼してください。
<p>画面でタッチした所と違う所が反応する。</p>	<p>タッチパネルのキャリブレーション（補正）を実行してください。（10ページを参照）</p>

キャッシュ・ドロアの問題

症状	処置
ドロアが開かない。	ドロアのケーブルを、本体の背面パネルで差し込み直してください。
ドロアが閉まらない。	<p>症状別にそれぞれの処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何かにつかえて閉まらない場合: ドロア内部に異物が入っているときは取り除いてください。ラッチが閉じてしまって、それに当たっているときは、両替キーか解除レバーを使って一度ラッチを開けてからドロアを閉め直してください。 • 閉める途中で重くなる場合: レールにローラーを正しく入れ直してください。 • 閉じてもすぐにまた開いてしまう場合: キャッシュ・ドロア底面にある解除レバーにケーブルなどが引っ掛かっているか確認してください。

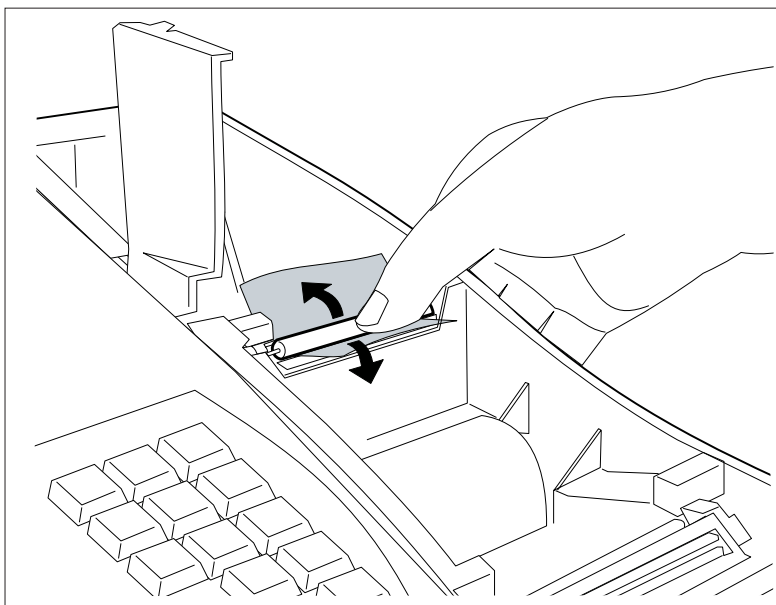
キーボードの問題

症状	処置
キー入力できず、入力時のピーブ音も出ない。	<p>次のことを調べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モード・キーの位置は正しいですか。「中断」などになっていると入力できません。「PC」でも入力できないことがあります。モード・キーを「操作」などの正しい位置に回してください。 2. PCモードで使用しているのであれば、外付けのPCキーボードが接続されていませんか。外付けキーボードが付いているとそちらが優先されます。外付けキーボードを外してください。
キー入力ができるが、ピーブ音が出ない。	ピーブ音の音量を調整して大きくします。(6ページの『ボリューム調整キー』を参照)
キー入力できないが、ピーブ音は出る。	ソフトウェアがキー入力を受け付けていない可能性があります。ソフトウェアの使用方法を確認してください。解決しない場合は、スタンバイ・スイッチを用いて起動し直してみてください。
押していないのにキーが入力される。	キー・トップの挿入ミスの可能性があります。入力されるキーのキー・トップを取り付けし直してみてください。
磁気カードが読めない。	モード・キーの位置は正しいですか。「中断」、「PC」では磁気カードは読めません。モード・キーを「操作」などの正しい位置に回してください。
ピーブ音の音量、液晶ディスプレイの明るさ、コントラストが調整できない。	モード・キーは「中断」になっていますか。これらの調整キーは「中断」位置でしか働きません。

紙づまりの除きかた

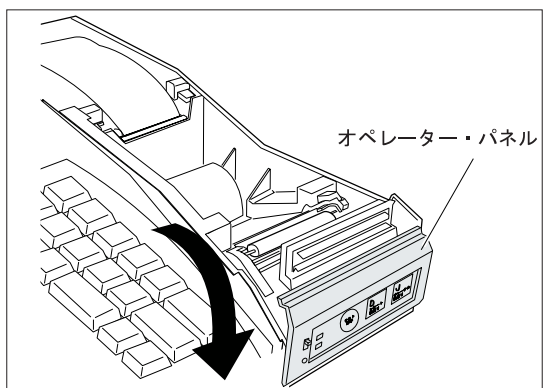
ジャーナル部

プリンター・カバーを開けて、ゴム・ローラーに挟まっている紙を、入り口側か出口側の取り出しやすい方から引き抜いてください。引き抜きにくい場合は、ゴム・ローラーに親指を押しつけてゴム・ローラーを回転させてください。

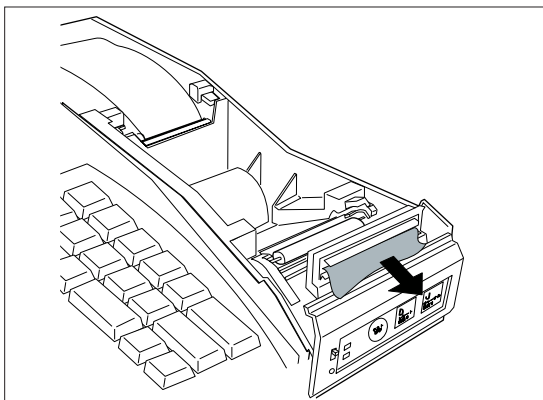


レシート部

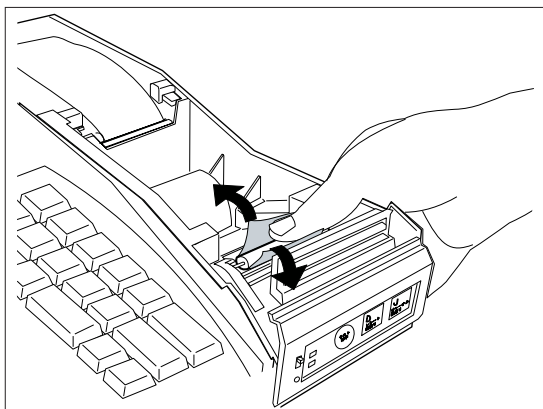
1. プリンター・カバーを開けてオペレーター・パネルを手前に開いてください。



2. カッター部に紙が詰まっている場合は、カッターの入り口側または出口側から紙を引き抜いてください。



3. ゴム・ローラーに挟まっている紙を、入り口側または出口側から引き抜いてください。引き抜きにくい場合は、ゴム・ローラーに親指を押しつけてゴム・ローラーを回転させてください。



日常のお手入れ

基本的な注意事項

本装置を正しく機能させるために、以下のことにご注意ください。



注意

vページの『安全に正しくお使いいただくために』の指示に従ってください。

- 本装置は清潔で乾燥した環境で使用し、必ず平でしっかりした面に設置する。
- 食べ物や飲み物は本装置の近くに置かない。
食べ物のかけらやこぼれた液体がキーボードにかかると故障の原因になります。
- スタンバイ・スイッチやその他の制御部分をぬらさない。
湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
- 電源コードを抜くときは、コードではなく、必ずプラグを持って抜く。
- ケーブル類の上に重い物を載せたり、ケーブル類を挟んだりしない。

本装置のクリーニング

本装置を定期的にクリーニングすることにより、機器の外観を保護し、操作上のトラブルを防ぐこととなります。

プラスチック部分の汚れ

プラスチック部分の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。ぬれたり、油のついた布でふくと電気回路の障害になったり、プラスチック部分の損傷の原因となります。酸、アンモニア系のガラス・クリーナー、アセトン、ケトンといった薬品は、使用しないでください。少々のインクのしみを取り除くには、中性洗剤を少量つけた柔らかい布を使用してください。

画面の汚れ

操作員用ディスプレイと顧客用ディスプレイの画面の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。

タッチパネル付きの操作員ディスプレイの場合は、下記のいずれかの布を使ってください。

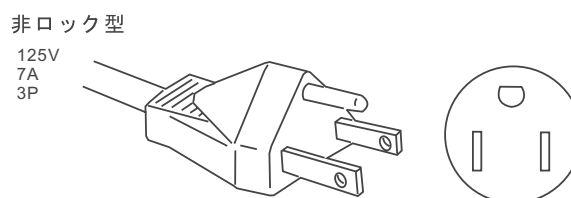
- 「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し、よく絞った布」
- ネル布
- ベンコット（旭化成）
- トレーシー（メガメ拭き）

電氣的仕様と設置場所について

電源の仕様

電圧	85V ~ 110V AC
周波数	50/60Hz ± 0.5Hz
消費電力 (概算)	<ul style="list-style-type: none">0.10KVA (標準の構成: スキャナー×2、キャッシュ・ドロア、VFD、ネットワーク・アダプター×1)0.20KVA (オプション最大取付時)
相数	単相

電源プラグとコンセントの形状を右図に示します。コンセントは、操作員の手が届きやすい場所に設置してください。



設置場所準備のための考慮事項

静電気の帯電

本製品は十分な静電気対策が取られていますが、お客様の使用環境や対策が取られていない入出力機器の接続、さらにはグラウンドの配線などによっては、静電気による不具合が発生するおそれがありますので、POS端末装置やレジ台の設置場所については、以下の点に十分注意してください。

- 抵抗値の高い床材（ビニル系、アクリル系）での使用はできるだけ避ける。
- カーペットの使用はできるだけ避ける。使用する際は、静電防止処理のなされているものを使用する。
- ゴムマットなどの絶縁性の敷物の使用を避ける。
- プラスチック製のシートやカバー、発砲スチロール製の容器、ポリ袋などの商品陳列棚や、店内用の買物カゴなどの回収場所の近くは避ける。

キャッシュ・ドロアを分離して使用する場合

キャッシュ・ドロアを分離して使用する場合には、ドロアが開いたときに発生する浮き上がりを防止する処置を取ってください。

4674 装置構成リスト

Standard CMOS Setup

工場出荷時の設定です。装置構成を変更した場合は製品の保守を容易にするために変更内容を記入してください。

Hard Disks	Type	Mode
Primary Master	Auto	Auto
Primary Slave	Auto	Auto
Secondary Master	None	
Secondary Slave	None	
Drive A	1.44MB, 3.5 inch	
Drive B	None	
Floppy 3 mode support	Disabled	
Video	EGA/VGA	
Halt On	All, But Disl/Key	

BIOS Feature Setup

CPU Internal core speed	300MHz
Boot Virus Detection	Disabled
Processor Serial No.	N/A
CPU Level 1 Cache	Enabled
CPU Level 2 Cache	Enabled
CPU Level 2 Cache ECC Check	Disabled
BIOS Update	Enabled
Quick power on self test	Enabled
HDD sequence SCSI/IDE first	IDE
Boot sequence	A,C
Boot up floppy seek	Enabled
Floppy disk access control	R/W
IDE HDD block mode sectors	HDD Max.
HDD S.M.A.R.T. capability	Disabled
PS/2 mouse function control	Auto
OS/2 onboard memory>64M	Disabled

PCI/VGA palette snoop	Disabled
Video ROM BIOS shadow	Enabled
C8000 - CBFFF shadow	Disabled
CC000 - CCFFF shadow	Disabled
D0000 - D3FFF shadow	Disabled
D4000 - D7FFF shadow	Disabled
D8000 - DBFFF shadow	Disabled
DC000 - FFFFF shadow	Disabled
Boot up numlock status	On
Typematic rate setting	Disabled
Typematic rate (Chars/sec)	6
Typematic delay(Msec)	250
Security option	System

CHIPSET Features Setup

SDRAM configuration	By SPD
SDRAM CAS latency	2T
SDRAM RAS to CAS delay	2T
SDRAM RAS precharge time	2T
DRAM idle timer	8T
SDRAM MA wait state	Normal
Snoop ahead	Enabled
Hot Bus fast data ready	Disabled
16-bit I/O recovery time	1 BUSCLK
8-bit I/O recovery time	1 BUSCLK
Graphics adapter size	64MB
Video memory cache mode	UC
PCI 2.1 support	Enabled
Memory hole at15M-16M	Disabled

DRAMs are 64 (Not 72) bits wide

Data integrity mode	Non-ECC
---------------------	---------

POWER MANAGEMENT Setup

Power management	User Define
Video off option	Suspend off
Video off method	DPMS off

** PM Times **

HDD power down	Disabled
Suspend mode	Disabled

Onboard FDC controller	Enabled
Onboard FDC Swap A&B	Swap AB
Onboard serial port 1	3F8H/IRQ4
Onboard serial port 2	2E8H/IRQ10 (Touch Panel有り) 2F8H/IRQ3 (Touch Panel無し)
Parallel port mode	378H/IRQ7
ECP DMA select	ECP+EPP
UART2 use interface	3
Onboard PCI IDE enable	Disabled
IDE ultra DMA mode	Both
IDE0 master PIO/DMA mode	Auto
IDE0 slave PIO/DMA mode	Auto
IDE1 master PIO/DMA mode	Auto
IDE1 slave PIO/DMA mode	Auto

** Power Up Control **

PWR button < 4 secs	Soft off
Power up on mode act	Enabled
AC power loss restart	Disabled
Power up by keyboard	Power key
Wake on LAN	Enabled
Automatic power up	Disabled

**** Fan Monitor ****

Chassis Fan speed	Ignore
CPU fan speed	rpm
Power fan speed	Ignore

**** Thermal Monitor ****

CPU temperature	C/F
MB temperature	C/F

PNP & PCI Setup

PNP OS installed	NO
Slot 1/Auto IRQ	5
Slot 2 IRQ	Auto
Slot 3 IRQ	Auto
PCI latency timer	32 CPI clock
IRQ3 used by ISA	Yes (Touch Panel 有り) No/ICU (Touch Panel無し)
IRQ4 used by ISA	No/ICU
IRQ5 used by ISA	No/ICU
IRQ7 used by ISA	No/ICU
IRQ9 used by ISA	No/ICU
IRQ10 used by ISA	No/ICU
IRQ11 used by ISA	Yes
IRQ12 used by ISA	No/ICU
IRQ14 used by ISA	No/ICU
IRQ15 used by ISA	No/ICU

**** Voltage Monitor ****

VCORE voltage	V
+3.3V voltage	V
+5V voltage	V
+12V voltage	V
-12V voltage	V
-5V voltage	Ignore

DMA 1 used by ISA	No/ICO
DMA 2 used by ISA	No/ICO
DMA 3 used by ISA	No/ICO
ISD MEM Block Size	C800
ISD MEM Block Base	16K
SYMBIOS SCSI BIOS	Disabled
USB IRQ	Enabled
VGA BIOS sequence	PCI/AGP

部品番号
26L5499